

質問書に対する回答

(工事名) 道央自動車道 北広島管内北地区舗装補修工事

質問事項と回答

| 番号 | 質問事項 | 回答 | 備考 |
|----|--|---|----|
| 1 | 特記仕様書 (P15~16) 18.現場環境改善に関する事項で「本件に関する費用については、諸経費に含むものとし、」の諸経費とは、現場環境改善費 の費用であり、現場環境改善費を計上していると考えて宜しいでしょうか。また、地域区分については、特記仕様書 (P1) 1-4 の適用区分より『市街地』で現場環境改善費を計上していると考えて宜しいでしょうか | そのとおりです。 | |
| 2 | 特記仕様書(P5-6)7-5.交通規制可能時間において、道央道下り線は「作業 時間概ね 10 時間程度」特記仕様書(P27-28)21-6-1(2)交通規制工の種別において道央道下り線は「作業は概ね 8 時間」と明記されています。どちらが正しいでしょうか。 また、道央道下り線及び道東道通行止めの作業時間は 8 時間となっていますが、土木積算基準において夜間の切削オーバーレイ 工は9 時間程度以上となっていますが、作業時間 8 時間に合わせた能力で積算しているのでしょうか | 道央道下り線の交通規制工については「20:00～翌6:00（作業は概ね 8 時間）」となります。 上記につきましては後日交付図書を訂正いたします。 また、道央道下り線及び道東道通行止での作業については作業時間に合わせた能力で想定しております。 | |
| 3 | 設計図(2/42)の工区 1-2 及び 1-3 において、工区 1-2 の車線規制 I ×1×0(Y) が 2 回計上に対し、工区 1-3 の車線規制 I ×1×0 (Y)の規制が 4 回計上されています。工種を考慮しても規制の回数が合わないと思いますが、どのように規制回数を考えているのでしょうか | 設計図(2/42)の車線規制 I ×1×0 (Y)の数量について工区 1-2 が 3 回。工区 1-3 が 3 回となります。 上記につきましては後日交付図書を訂正いたします。 | |

| | | | |
|---|---|---|--|
| 4 | <p>工事工程表において2班を想定されていますが、追分町～夕張IC間通行止め日数 23日間に2班11日を加えると34箇所の作業箇所になります。交通誘導員1か所あたり5名の配置を設計図書上で明記されていますが34箇所に5名配置をすると170名となり、追分町～夕張IC間の交通誘導警備員B(Y)165名を超えててしまいます。どのような2班の編成を計画しているかご教授願います</p> | <p>切削オーバーレイ工・打換工の交通誘導警備員B(Y)は34か所の5名配置で170人・日、注意喚起溝工は20人・日の交通誘導警備員B(Y)を想定しておりますので、追分町～夕張IC間の交通誘導警備員B(Y)は合計で190人・日となります。</p> <p>上記につきましては後日交付図書を訂正いたします。</p> | |
| 5 | <p>各施工箇所において、施工能力及び各工種を考えても、規制日数と合わない箇所 があります。規制日数の数量を再度確認願います</p> | <p>数量等に訂正がある場合、後日交付図書を訂正いたします。</p> | |

以 上